

問 一次産業の活性化は

答 検討し進めていく



議員 山崎 泰昌 (政和会)



町外からも多くの観光客が潮干狩りに訪れる (震災前の様子)

問 町の施策としてこの食材、この水産物ならば町の風土、環境にマッチし、所得向上につながるという農水産物を研究してみてもどうか。

佐藤町長 食材の品質や認知度を高めていけば、所得の向上につながるものにとらえていく。大豆やブロッコリー、ホタテやカキなど既存の食材を見直すことも一つの手法である。現在はアサリ漁場環境整備事業を実施しており、将来的な増産体制なども検討を進める。

町長 地域再生営漁計画に基づく事業を行う場合には補助金の対象となる。

川口水産商工課長 県営漁港で公衆トイレがないのは大沢漁港。今後、県と協議していく。

町長 今後の展望は。収入源の処理手数料が落ち込む見通しであり、経営は厳しい状況にある。来年1月から新たに指定管理料を支払うこととしている。

問

観光事業の在り方は

答

状況を踏まえて対応

問 今年の海水浴場利用者数は。昨年の状況を踏まえて事業を行うか。

町長 オランダ島が709人、浦の浜が4526人、荒神が最も多く7262人であり、駐車場不足があった荒神海水浴場では臨時駐車場を設けた。

町長 山田北ICを起点として南方面と北方面に3カ所ずつ設置する予定。

町長 今年度の海水浴場利用者数は。昨年の状況を踏まえて事業を行うか。

川守田政策企画課長 一般的に広く募集して商品を納めてもらうという考え方で進めている。販売スペースについては指定管理候補者と協議する。

町長 概略設計業務による検討を行ってきたところだが、整備にあたっては多額の財政負担が見込まれることから、引き続き慎重に検討を進める。

問 観光拠点となる新道の駅において、運営や運用について町の関与は。

町長 指定管理者に運営を任せるが事業の実

問 新道の駅のため三陸沿岸道路への看板設置を提案したが進捗状況は。